

## 北条旧市街地における交流拠点づくりの話し合いがされました

### 北条旧市街地の元気なまち再生事業（エリアリノベーション）について話し合いがはじまりました。

これまで3回にわたり北条旧市街地のまちづくりの構想（ビジョン）について話し合ってきましたが、これからの3回は先導プロジェクトに掲げた交流拠点の整備についての具体的な話し合いを行っています。

この事業は、将来的に空き家・空き店舗などを活用した拠点を北条旧市街地内につくり、まちを再活性化していくことをねらいとして進められています。

#### ■第1回ワークショップ（2月14日）

- ・北条旧市外地内に求める必要な機能
- ・交流拠点に必要な機能

#### ■第2回ワークショップ（3月14日）

- ・交流拠点における活用イメージ（活用例の提示）

#### ■第3回ワークショップ（3月29日）

- ・交流拠点の活用イメージのまとめ、運営方法について
- ↓ ・北条旧市街地のリノベーションについて

#### ■【平成 29 年度】交流拠点の改修と運用

- ↓ ・交流拠点の開設にあわせたイベントの実施 等

#### ■【平成 30 年度】新たな拠点の検討と改修・運用

### 今回の内容と これからの流れ



## 今年度、この事業で主にこんなことを実施します！！

### ◆元気なまちづくりガイドラインの作成

北条旧市街地での取組や空き家・空き店舗の活用手法を整理した手引書の作成。

### ◆施設概略調査の実施

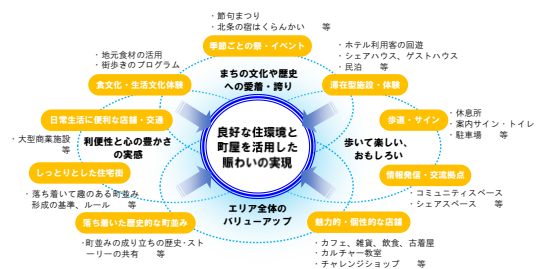
今後、活用が期待される空き家・空き店舗を調査し、活用に向けた整理を行う。

### ◆先導プロジェクトの着手

交流拠点としての活用が期待できる春陽堂の活用に向けた話し合いを展開。

### 「北条旧市街地ビジョン」を踏まえた取組

北条旧市街地の魅力をいかし、まちの賑わいや良好な居住環境をつくり、移住・定住、交流人口の増加につなげていくための構想。この構想の実現に向けて事業が展開されます。



## 第4回 町屋暮らし再生塾の様子

■実施日  
2月14日  
■場所  
加西市コミセン  
2階 視聴覚室

### 【事例を踏まえたまちづくりに関する全般的な意見】

#### ◆北条のまちづくりの課題

- ・全体として北条のまちづくりに興味がある人がほとんどいない。
- ・北条で事業を継続してできた例がないため、継続的に人が来る仕組みや工夫が必要。

#### ◆空き家・店舗の運営の不安

- ・情報発信の場はよいとして、商売となると2～3年目からの利用に不安がある。
- ・まずはやってみる。やりながら考えることが大切でどうやったら維持できるかも考える。

### 【北条旧市街地における交流拠点等の機能のアイデア】

#### ◆子どもが集まれる場

- ・子どもが遊べる場。集まれる場があるとよい。
- ・子どもがわいわいと言える拠点。あわせて親も集まれる。
- ・子どもが勉強できる場(寺子屋塾)があったらよい。

#### ◆高齢者が集える場

- ・高齢者が集える場が必要で、お茶を飲める場。
- ・高齢者のカルチャースクールを開催できる場。

#### ◆観光客が利用できる場

- ・観光客にとって休憩する場所があったらよい。
- ・ボランティアガイドの詰所的なところがある。
- ・駐車場の位置がわかるとよい。
- ・高齢者や子ども用のトイレがあるとよい。

### 【交流拠点(春陽堂)の改修について】

#### ◆必要なスペースについてのアイデア

- ・水回り、トイレが必要。
- ・貸しスペースがあるとよい。
- ・ミーティングの場(公会堂)やサロンとして活用する。
- ・歴史などを地元の人が学べる場にする。
- ・縁側に座って庭を眺められるような坪庭をつくる。
- ・映画を上映できるようにする。
- ・貸し部屋。ワーキングスペースとするのもあり。

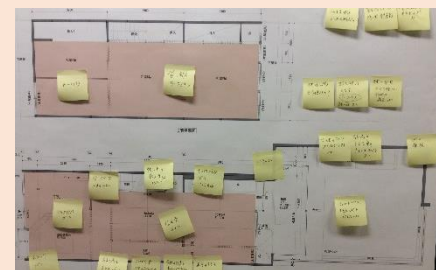
### 当日の様子



豊岡市（竹野町）や尼崎市などのリノベーションの事例が報告され、意見交換を行いました。



旧北条市街地のリノベーションイメージのマップの報告とあわせ、今後必要な拠点の機能について話し合いが行われました。



春陽堂の現況平面図をもとに、どんなスペースが必要か、改修や活用イメージについて話し合いが行われました。

### 「北条旧市街地 町屋暮らし再生塾」とは？

北条旧市街地のまちづくりを進めていくうえで、北条旧市街地や加西市のまちづくりに携わられている皆さんにお集まりいただき、町屋等の再生・活用方法などを学び、検討していく場です。